

輸出事業計画

※申請者名：宮崎県チキン輸出コンソーシアム、品目：鶏肉

1. 輸出における現状と課題

○輸出の現状

【香港】

（若鶏・銘柄鶏）

ニーズは高まっているが、鳥インフルエンザが発生し輸出停止期間があったことから、安定供給を求められている。また、高価格で取引するために、付加価値を追求する必要がある。

（地鶏）

これまでサンプル輸出を行ってきたが、継続的な取引に至っていない。高所得層へのニーズは見込めるものの、ブランド価値を理解し継続取引ができる取引先の確保が必要である

【シンガポール】

現在はシンガポールが求めるサルモネラ属菌に係る要件を満たすために、サルモネラ汚染の低減対策を実施しているところであり、対策結果をシンガポール政府へ提出する必要があることから、輸出が困難な状況である。

試験輸出時の評判は上々であり、現在も商業輸出を待望されている。巣籠もり需要に寄せ過ぎて小売業態に安売りせず、高価格帯にはまるような進め方が重要。

【マカオ】

香港と同じくニーズは堅調である。高価格で取引するために付加価値を追求する必要がある。

○輸出の課題

【香港（流通）】

高病原性鳥インフルエンザが発生し、輸出停止期間があったため、販売ルートの回復・開拓が課題。

【香港（販売）】

輸出停止となる期間が生じたため、現地マーケットの信頼回復、新規顧客の獲得が課題。

【シンガポール（生産・製造）】

サルモネラ汚染の低減に向けた対策を確立し、輸出を実現することが課題。

【シンガポール（販売）】

輸出実績がほぼ無く、販売経路を確保する必要がある。

【マカオ（販売）】

輸出実績が少ないため、輸出拡大に向けた取引先の獲得が必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

【香港（流通・販売）】

（若鶏・銘柄鶏）

パンフレット等の販促資材を作成し、展示会等でのプロモーションを行う。

また、現地での内食需要を見据えた小売り店舗での販促セールを実施し、新規顧客の獲得を図る。

（地鶏）

手羽・ササミ等の活用事例紹介、アジア向けレシピ提案を行う。

【シンガポール（生産・製造）】

サルモネラ汚染低減対策の研究・協議に有識者を交えて取り組む。

【シンガポール（販売）】

輸出可能条件の調査および販売経路を確保する。

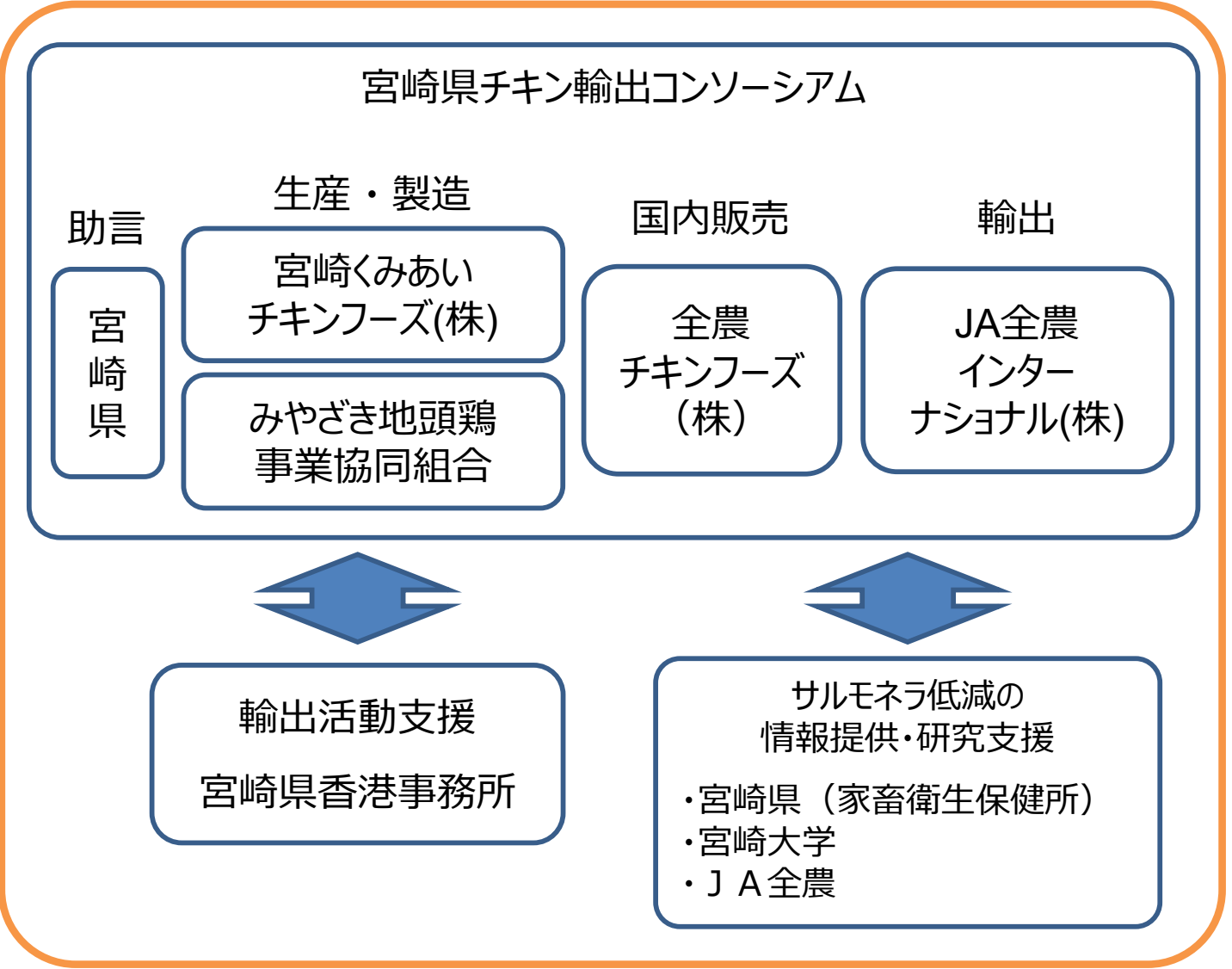
【マカオ（販売）】

新たな取引先を確保するとともに販売ルートを確立する。

輸出事業計画

※申請者名：宮崎県チキン輸出コンソーシアム、品目：鶏肉

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和3年度）	目標（令和6年度）
輸出額	5,024千円	28,140千円
輸出量	9トン	180トン
輸出先国・地域	香港、マカオ	香港、シンガポール、マカオ